

## 1 研究の概要

### (1) 研究主題

高等学校教育（国語，理科，地理歴史）における思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業づくり－習得した知識を活用・探究する過程における対話的活動\*を通して－

### (2) 主題設定の趣旨

情報化やグローバル化が著しい中、今後人工知能（A I）の更なる進化により、予測を超えた社会的变化が進展していくと考えられます。そうした中で、子どもたちが予測できない変化に対し受け身で対処するのではなく、様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断しながら、課題を解決していく力が求められています。高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月）では、新しい時代に必要となる資質・能力を「知識及び技能」「思考力，判断力，表現力等」「学びに向かう力，人間性等」として示しています。

一方、これまでの高等学校における教育は、小・中学校に比べ知識伝達型の授業にとどまりがちであったため、知識及び技能に比べ、問題解決のために習得した知識を活用し、自ら考え表現する力の育成が不十分でした。これにより卒業後の学習や社会に必要な力が育成されていないことが指摘されています。このような課題から、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けるようにするため、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善が求められています。高等学校学習指導要領では、各教科・科目等の指導において配慮する事項として「生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること」<sup>(1)</sup>と示されています。このことから、「深い学び」のためには、単元における言語活動や観察・実験などの活動の中で、習得した知識を活用・探究する過程を充実させることが重要だと考えます。単元における活用・探究の過程において、生徒が習得した知識の中から、課題解決に必要なものを選択し、関連付けて適切に活用でき、解決策を考えて表現することで、思考力・判断力・表現力が育成されると捉えました。このような実践を重ねることで、社会で活用できる汎用的な力につながると考えました。

また、田村学は、『『深い学び』の実現のためには、身に付けた知識や技能を発揮したり、活用したりして関連付けることが大切になる。……明確な課題意識をもった主体的で文脈的な学びで知識や技能のつながりを生むことが必要であり、情報としての知識や技能を対話によってつないで再構成する処理場面の活性化などが重要となる』<sup>(2)</sup>と述べています。このことから、習得した知識を活用・探究する学びの過程において、対話的活動が重要であると考えました。

『平成 28・29 年度「プロジェクト研究」高等学校理数教育』では、対話的活動によって主体的に学ぶ姿勢が生まれ、生徒の考えが広がり、深まり、確かなものになったことが示されています。しかし、単元の中に適宜対話的活動を取り入れた実践であったため、習得した知識を活用・探究する過程における対話的活動を取り入れた授業づくりについては、更に明らかにする必要があると考えました。

これらのことを踏まえ、本研究では、高等学校の国語，理科，地理歴史において、習得した知識を活用・探究する過程に焦点化し、対話的活動を取り入れた授業を行うことで、思考力・判断力・表現力の育成を目指したいと考え、本主題を設定しました。

\* 『平成28・29年度「プロジェクト研究」高等学校理数教育』において、対話的活動とは生徒と教師、生徒同士のペアやグループ、クラス全体等での言語を伴う活動を通じて、自分の考えと他者の考えを比較したり、関連付けたり、整理したりして、互いに合意形成を図ったり自らの考えを更新したりする活動と定義する。

(3) 研究の目標

高等学校教育（国語，理科，地理歴史）において，思考力・判断力・表現力を育成するために，各教科・科目及び学校の実態に応じて，習得した知識を活用・探究する過程で対話的活動を取り入れた授業づくりについて探る。

(4) 研究方法

- ア 各教科・科目における習得・活用・探究の学習過程及び対話的活動に関する理論研究及び先行研究の調査，実態調査
- イ 各教科・科目で育成する思考力・判断力・表現力を設定した単元計画及び学習指導案の作成
- ウ 習得した知識を活用・探究する過程で対話的活動を取り入れた授業実践

(5) 研究内容

- ア 各教科・科目で習得・活用・探究の学習過程及び対話的活動に関する理論研究及び先行研究の調査，実態調査を行い，授業に取り入れる対話的活動の具体を明らかにします。
- イ 各教科・科目において，理論研究及び先行研究の調査，実態調査の結果に基づいて，育成する思考力・判断力・表現力を設定し，対話的活動を取り入れた単元計画や学習指導案を作成します。
- ウ 作成した単元計画と学習指導案を基に，対話的活動を取り入れた授業を実践し，生徒の変容を分析することで手立ての有効性を検証します。

《引用文献》

- (1) 文部科学省 『高等学校学習指導要領』 平成30年 3 月 p. 17
- (2)(3) 田村 学 「カリキュラム・マネジメント入門」 平成29年 3 月 東洋館出版社 p. 22